

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0014
 住 所 川崎市幸区大宮町1310番地
 氏 名 昭和電工ガスプロダクツ株式会社
 代表取締役社長 西村 浩一
 (代理人) 川崎工場長 宮舘 憲司
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	昭和電工ガスプロダクツ株式会社		
上たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町7番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
上たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	液化炭酸ガス、ドライアイス製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,568	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 22,999 t-CO ₂ (調) 22,602	(実) 23,358 t-CO ₂ (調) 22,951	(実) 24,060 t-CO ₂ (調) 23,644	(実) 24,217 t-CO ₂ (調) 23,795	(実) 22,679 t-CO ₂
削減率		(実) -1.6 % (調) -1.5 %	(実) -4.6 % (調) -4.6 %	(実) -5.3 % (調) -5.3 %	(実) 1.4 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /千t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	88.42	83.22	84.77	84.08	85.58
削減率		5.9 %	4.1 %	4.9 %	3.2 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	NH3冷凍機を予備機としたことで対前年の蒸気使用量を削減した。温室効果ガスの排出量は、総量では増加したが、プラントの能力改善工事を行い生産量の増産を達成したことで排出量原単位では、削減した。
第2年度	冷凍機補修時に予備機のNH3冷凍機を稼働した事で蒸気の使用量が増加した。生産量は、プラント能力の増強を実施し増産を達成した。
第3年度	2018年4月より親会社である昭和電工の事業判断によって共同受電による東京電力からの電力供給から昭和電工の自家発電に切り替わった。CO2排出係数が東京電力より高い為、排出量は悪化したが、安定生産を継続できたことで増産を達成し原単位は向上させた。結果として目標年度の削減率を達成することができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①既存プラントの能力回復と老朽化した保冷の更新を実施し、電力原単位の向上と生産量アップを図る。 ②ドライアイス製造工程においてロスを削減し収率の向上を目指す。
	第1年度	①既存プラントの能力回復を実施し、生産量のアップと効率化を達成した。 ②ドライアイス製造工程におけるロスを削減した。
	第2年度	①プラントの増強対策を実施し、生産量のアップと効率化を達成した。 ②ドライアイス製造工程におけるロスを削減した。
	第3年度	①プラントの安定・高稼働を維持し、生産量のアップと効率化を達成した。 ②設備安定化により、ドライアイス製造工程におけるロスを削減した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	44,544	t-CO ₂
(調)	44,544	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市川崎区扇町7番1号	1623	液化炭酸ガス・ドライアイス製造	44,514 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--